

自動貸金庫規定

1. (格納品の範囲)

(1) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができます。ただし、破損しやすいものおよび変質するものは格納できません。

債券、株券その他の有価証券
預金通帳・証書、契約証書、権利書その他の重要書類
貴金属、宝石その他の貴重品
前各号に掲げるものに準ずると認められるもの

(2) 当組合は、前項各号に掲げるものについても、相当の理由があるときは、格納をおことわりすることがあります。

2. (契約期間等)

この契約の当初契約期間は、契約日から最初に到来する3月末日までとし、契約期間満了日までに借主または、当組合から解約の申出をしないかぎり、この契約は期間満了日の翌日から1年間継続されるものとします。継続後も同様とします。

3. (使用料)

(1) 貸金庫の使用料は、料金表記載の料率により1年分を前払いするものとし、毎年4月の当組合所定の日に、借主が指定した預金口座から払戻しのうえ使用料に充当します。預金口座からの払戻しは、普通預金規定・当座勘定規定にかかわらず、預金通帳・払戻請求書、または当座小切手の提出は不要とし、当組合所定の方法により取扱います。なお、当初契約期間の使用料は、契約時に契約日の属する月を1か月としてその月から月割計算により支払ってください。

(2) 使用料は諸般の情勢により変更することがあります。変更後の使用料は、変更日以後最初に継続される契約期間から適用します。

(3) 契約期間中に解約があった場合は、解約日の属する月の翌月から期間満了日までの使用料を月割計算により返戻します。

4. (鍵等の保管)

(1) 貸金庫に付属する鍵正副2個のうち、正鍵は借主が保管し、副鍵は当組合立合のうえ借主が届出の印章により封印し、当組合が保管します。

(2) 借主および借主があらかじめ届出た代理人に貸金庫の開閉等に使用する貸金庫利用カード(以下「貸金庫利用カード」といいます。)を発行しますので借用証および自動貸金庫利用カード暗証届(以下「暗証届」といいます。)ならびに印鑑届に記入のうえ、ご利用の印章および暗証を届出てください。貸金庫利用カードは借主および代理人がそれぞれ保管してください。

5. (貸金庫の開閉等)

(1) 貸金庫室への入室にあたっては、借主または代理人が専用入口に備え付けのカード読取機に貸金庫利用カードを挿入し、届出の暗証番号をボタン操作により入力してください。

(2) 貸金庫の開閉は、借主または代理人が正鍵を使用して行ってください。

(3) 格納品の出し入れは、当組合所定の場所で行ってください。

(4) 貸金庫の使用後は、施錠してください。

(5) 閉庫後は貸金庫の施錠を確認のうえ、貸金庫室退室用開扉装置へ正鍵を使用して退出してください。

6. (届出事項の変更等)

(1) 印章を失ったとき、または印章、名称、代表者、代理人、住所、暗証番号、電話番号その他の届出事項に変更があったときは、直ちに書面によって当店に届出てください。この届出の前に生じた損害については、当組合は、責任を負いません。

(2) 貸金庫利用カード、正鍵を失ったときもしくは毀損したときも、前項同様とします。

(3) 届出のあつた名称、住所にあてて当組合が通知または送付書類を発送した場合には、延着し、または到着しなかったときでも通常到達すべき時に到達したものとみなします。

7. (成年後見人等の届出)

(1) 家庭裁判所の審判により、補助・保佐・後見が開始された場合には、直ちに成年後見人等の氏名その他必要な事項を書面によって当店に届出てください。預金者の成年後見人等について、家庭裁判所の審判により、補助・保佐・後見が開始された場合も同様に届出てください。

(2) 家庭裁判所の審判により、任意後見監督人の選任がされた場合には、直ちに任意後見人の氏名その他必要な事項を書面によって当店に届出てください。

(3) すでに補助・保佐・後見開始の審判を受けている場合、または任意後見監督人の選任がされている場合にも、前2項と同様に当店に届出てください。

(4) 前3項の届出事項に取消または変更等が生じた場合にも同様に当店に届出てください。

(5) 前4項の届出の前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。

8. (印章、鍵等の喪失時の取扱い)

(1) 印章、貸金庫利用カードもしくは正鍵を失った場合の貸金庫の開閉は、当組合所定の手続きをした後に行ってください。この場合、相当の期間をおき、また、保証人を求めることがあります。

(2) 正鍵を失った場合または毀損した場合は、錠前等の取替えに要する費用を支払ってください。なお、当組合が貸金庫の変更を求めたときは、直ちにこれに応じてください。

9. (暗証照合等)

暗証入力装置により、貸金庫利用カードを確認し、暗証入力装置を利用の際使用された暗証番号と届出の暗証番号との一致を確認のうえ、開庫その他の取扱いをしまった場合は、貸金庫利用カードまたは暗証番号につき偽造、変造、盗用その他の事故があってもそのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。

10. (印鑑照合等)

諸届その他の貸金庫取引に関する書類に使用された印影または署名を届出の印鑑または署名鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて届出の受付その他の取扱いをしまったうちは、それらの書類につき偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。なお、使用される鍵について当組合は確認する義務を負いません。

11. (損害の負担等)

(1) 災害、事変その他の不可抗力の事由または当組合の責めによらない事由により、貸金庫設備の故障等が発生した場合には、貸金庫の開庫に応じられないことがあります。このために生じた損害については当組合は責任を負いません。

(2) 前項の事由による格納品の紛失、滅失、毀損、変質等の損害についても当組合は責任を負いません。

(3) 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当組合または第三者が損害を受けたときは、その損害を賠償してください。

12. (反社会的勢力との取引拒絶)

この貸金庫は第13条第3項各号のいずれにも該当しない場合に利用することができ、第13条第3項各号の一にでも該当する場合には、当組合はこの貸金庫の使用申込をお断りするものとします。

13. (解約等)

(1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。この場合、貸金庫利用カード、正鍵および届出の印章を持参し、当組合所定の手続きをしたうえ貸金庫を直ちに明渡してください。なお、貸金庫利用カード、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか第8条に準じて取扱います。

(2) 次の各号の一つにでも該当する場合には、当組合はいつでもこの契約を解約することができるものとします。この場合、当組合から解約の通知があったときは、直ちに前項と同様の手続きをしたうえ貸金庫を明渡してください。第2条により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。

借主が使用料を支払わないとき

借主について相続の開始があったとき

借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当組合もしくは第三者に損害を与えまたはそのおそれがあると認められる相当の事由が生じたとき

店舗の改築、閉鎖その他相当の事由があるとき

借主または代理人がこの規定に違反したとき

(3) 前項のほか、次の から までの一にでも該当し、借主との取引を継続することが不適切である場合には、当組合はこの貸金庫の利用を停止し、または借主に通知することによりこの契約を解約することができるものとします。この場合、当組合から解約の通知があったときは、直ちに第1項と同様の手続きをしたうえ貸金庫を明渡してください。なお、この解約によって生じた損害については、当組合は責任を負いません。また、この解約により当組合に損害が生じたときは、その損害額を支払ってください。

借主が貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合

借主または代理人が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者(以下これらを「暴力団員等」といいます。)に該当し、または次のいずれかに該当することが判明した場合

A. 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること

B. 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること

C. 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること

D. 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること

E. 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること

借主または代理人が、自らまたは第三者を利用して次のいずれか一にでも該当する行為をした場合

A. 暴力的な要求行為

B. 法的な責任を超えた不当な要求行為

C. 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為

D. 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当組合の信用を毀損し、または当組合の業務を妨害する行為

E. その他前A. からD. に準ずる行為

(4) 前3項の明渡しが遅延したときは、遅延損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明渡しの日の属する月までの使用料相当額を月割計算により支払ってください。この場合、第3条第3項にもとづく返戻金は、遅延損害金に充当します。不足額が生じたときは直ちに支払ってください。なお、当組合はこの不足額を明渡しの日第3条第1項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。

(5) 第1項、第2項または第3項の明渡しが3か月以上遅延したときは、当組合は副鍵を使用して貸金庫を開庫のうえ、格納品を別途管理しもしくは一般に適当と認められる方法、時期、価格等により処分し、または処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。なお、当組合は、貸金庫の開庫に際して、公証人等に立合を求めることができるものとします。これらに要する費用は借主の負担とします。

(6) 使用料、遅延損害金その他借主が負担すべき費用が支払われないときは、前項の処分代金をこれに充当することができるものとします。この場合、不足額が生じたときは、当組合からの請求がありしだい支払ってください。

14. (貸金庫の修繕、移転等)

貸金庫の修繕または移転その他やむを得ない事情により、当組合が格納品の一時引取りまたは貸金庫の変更を求めたときは、直ちにこれに応じてください。

15. (緊急措置)

法令の定めるところにより貸金庫の開庫を求められたとき、または店舗の火災、格納品の異変等緊急を要するときは、当組合は副鍵を使用して貸金庫を開庫し臨機の処置をすることができるものとします。このために生じた損害については当組合は責任を負いません。

16. (譲渡、転貸等の禁止)

貸金庫の使用権は譲渡、転貸または質入することはできません。

17. (保証人)

保証人は、この契約から生ずるすべての債務について借主と連帯して履行の責めに任ずるものとします。この契約が継続された場合も同様とします。

以 上